

もっと積極的なカラス対策を!!

最近、市民の方からカラスが増えているのではないかと声をよく耳にします。昨年、市ではカラス対策ハンドブックを市内全家庭に配布し、ごみを荒らされないための方法など、市民自ら対策を進めるための方法を周知してきました。

カラスは鳥獣保護法により、捕獲が原則禁止されており、危害を加える可能性がある場合のみ捕獲が許可されていますが、豊中市では成鳥の捕獲は行っておらず、昨年からの撤去と同時にヒナや卵の撤去を一部において実施し始めたところです。

お隣の箕面市においては条例を制定したり、場合によっては罠を仕掛けて成鳥を捕獲することまでしています。同様の取り組みを豊中市にも求めましたが、ハンドブックや巣の撤去の成果を見極めてからの答弁。しかし、そもそも豊中市内のカラスの生息数が把握されていないのでハンドブックや巣の撤去の効果がどの程度出ているのかよくわからないはず。これからもしつこく対策を求めていきます。

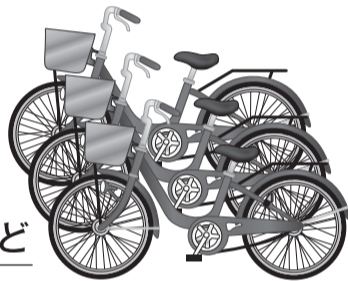


自転車に関する話

放置自転車の話

未来とよなかは、放置自転車対策に力を入れ、様々な提案をしてきました。

- ・コイン式駐輪機の設置
- ・休日撤去の実施
- ・整理、撤去、保管業務の一括委託化
- ・移動保管料の改定
- ・撤去自転車の保管期間の短縮などなど



実績 放置台数の抑制と事業費の削減を同時に実現
平成22年度から25年度までの3年間で、
市内の放置台数578台、24%減少!!(2367台から1789台に)
事業経費約6700万円、36%削減!!(約1億8000万円から約1億1700万円に)

しかし、まだまだ解決すべき課題もあります

豊中駅周辺

未来とよなかはエトレ豊中前など、固定式駐輪スペースの増設を求め、現在、増設に向け、調査・協議中です。

桃山台駅周辺

未来とよなかはアザール前に固定式駐輪スペースを設置するよう求め、現在、コイン式駐輪機の設置に向けて、吹田市と協議・検討中です。

庄内駅周辺

豊南市場前の仮設自転車整理ゾーンの早期撤去を求めてきましたが、4月から、閉鎖されることになりました。今後は、仮設自転車整理ゾーンの完全撤去と、歩行者が安心して通行できる道路整備を求めていきます。



自転車通行空間整備事業

- ①路面着色による自転車通行帯を阪急電鉄の豊中駅～曽根駅間の一方通行区間の道路において
- ②また、路面へのピクト(自転車マーク)表示による車道混在型を豊中駅東側～豊中高校への道路において試験的に整備を実施することになりました。

整備イメージ「豊中市自転車通行空間整備の考え方」より



事業における市の取り組み

- ①左側通行違反の防止のため看板の設置やリーフレット配布などの啓発活動を実施
- ②自転車レーン内への自動車の駐車対策として看板設置と共に、警察への取り締まり強化の要請
- ③事業の効果検証として、自転車のルール遵守の状況、街渠の有無による走行性、通行帯に対する利用者や沿道住民の意見並びに、荷下ろしやバス停、その他の駐停車に対する走行性、路面カラー舗装とピクトグラム(自転車マーク)表示の効果の違いなどを確認

『とよっぴー』の話

未来とよなかは、学校給食の残飯堆肥化事業(とよっぴー)を問題視し続けてきました!!

現状

- ①堆肥化事業に毎年約3000万円もの税金投入
- ②これまでに約4億円もの税金支出
- ③学校給食の食べ残しは約160トン/年発生
- ④焼却処理すれば約800万円の支出で済む

市の対応

そんな中、市は堆肥化機械の更新に約6000万円もの2015年度予算を計上

新たな課題

- ①機械を更新しても、ランニングコストは年間約1700万円で、焼却処理した場合の2倍のコストがかかる
- ②一度、更新してしまうと、最低でも10数年は事業を継続しなければならない
- ③そもそも、市は、学校給食の食べ残しが無くなることを想定していない



学校給食の食べ残しのパン

未来とよなかは、一度、事業を中止して、残飯や調理くずを焼却処理するといった選択肢もあったのではないかと考えます。歳出の抑制になりますし、堆肥化事業が無いことによる市民や市に対する影響や効果が検証できるはずです。

「市政へのご意見・ご要望等はこちらまで！」

FAX

06-4977-4962

E-mail

miraitoyonaka@gmail.com